"市民歌"できる

～30日に発表会～

"市民歌"の曲ができあがりました。十一月三十日（日）午後一時三十分から葛塚中学校体育館で、盛大に発表会を開くことになりました。

作曲は、新潟大学の久住和磨助教授です。

市民歌は、豊栄の市制五周年町村合併二十周年を記念して、市民の手で市民の歌をと市が企画し、市民歌制定委員会（小黒健次郎会長）をつくり、制定をお願いしていました。作曲も、今春公募しましたが、該当作がなく同委員会は久住先生に依頼していたものです。

七日開かれた同委員会ではやさしい曲だと委員の間で好評でした。

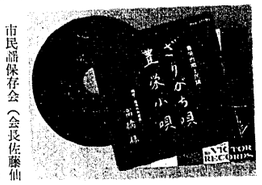
さっそく、十八日にはNHK「歌は友だち」にレギュラー出演しているロイヤルナイッツによってレコーディングが行われました。来春一月十五日にはレコードができあがる予定で、一枚五百円（実費）で一般に頒布する計画です。

発表会は、入選者等に対する表彰式を行い、タレント による歌唱指導、児童生徒、市民音楽教室生のコーラス、さらに参加者全員で の大合唱が予定されています。

アトラクションはロイヤルナイッツショーが約四十分のほか、市民謡連盟によるざりがちの踊り、児童生徒の合唱、演奏も計画されています。入場は、もちろん無料ですあなたも、ぜひ参加を。

（注）ロイヤル・ナイツ＝〝皇帝の騎士〟という意味。一九五九年結成、今年で十六年。本格派のヴォーカル、カルテットとして広い分野に活躍、特にロシア民謡を得意としています。ソ連公演旅行は七回も行っています。（写真）

「ざりがち唄」レコードできる



市民謡保存会（会長佐藤仙太）では、ふるさとの民謡の「ざりがち唄」の保存、普及を図るためにレコード製作を準備していました。このほどできあがり、希望者に実費頒布をはじめました。また、民謡流し用の振付も完成しました

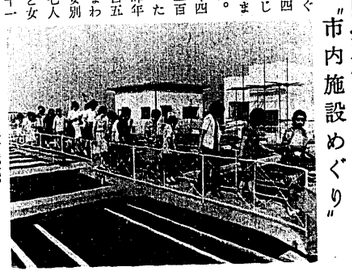
「ざりがち唄」は、家を新築する土台がためのときの作業歌。

レコードの吹込みは、会長の佐藤さんと同保存会のみなさんで、裏面には「豊栄小唄」が入っています。

市民謡連盟でも、来年の民謡流しに、このざりがち唄を取り入れたい考えで、市内の小・中学校を会場に「ざりがち唄普及講習会」を開き普及につとめています。

ざりがち唄レコード一枚六百円。希望申込みは、中央公民館内 市民謡連盟事務局へ。

十四回実施した〝市内施設めぐり〟



〝市内施設めぐり〟は、今年で四年めで。昨年と同じく五月から十月まで実施しました。

六カ月間で十四回、参加者は二百七十三人でしたが、いずれも昨年（十八回、三百五十五人）を下まわりました。男女別では、男七十七人女百九十六人と女性が全体の七十一・八％を占めています。

また年代別では、六十歳以上のお年寄りが五十％以上を占め、次に多いのが二十歳代から三十歳代。

回数としては団体参加の十一回に対して個人参加が三回でした。（浄水場の見学）

市の人口三万七千七百七十六人

～国勢調査の概数～

十月一日現在で実施した国勢調査の豊栄市の概数がまとまりました。

世帯数 八、八六三世帯

人口 三七、七七六人

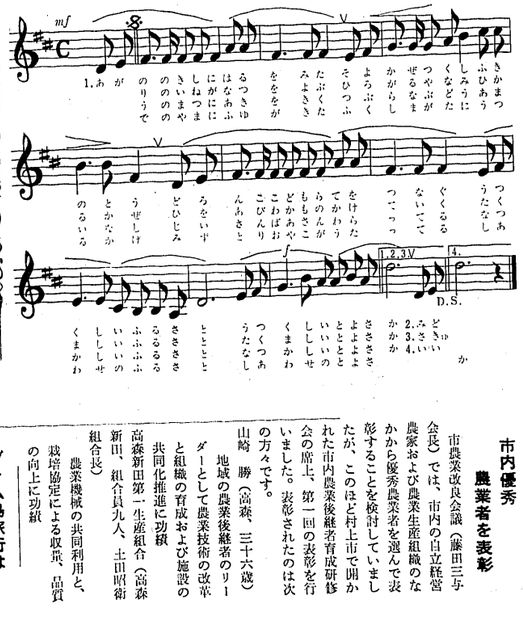
男 一八、三三一人 女 一九、四四五人

五カ年間で五千六百三十五人の人口増加で、伸び率は一七・五％でした。世帯当り人口は、四・二六人です。

豊栄市民歌

司 彦磨
高 康和
山 橋住
丸 浮久
詞作曲
作補作

♩=112～120



中川精治さんに叙勲

この秋の叙勲で中川精治さん（白新町二丁目、七十四歳）が「勲五等瑞光旭日章」を受けられました。（写真）

このたびの受章は、長年にわたって商工振興、中小企業の健全育成、指導にあたられたこと、また、自治行政においても活躍され、市の政治、経済、教育、文化と広範な分野に功績を残されたことによるものです。

商工振興では、昭和二十年五月、葛塚町商工会が結成されて以来、四十六年五月までの二十六年間、会長を務め、商工業者の育成、指導を、とりわけ三十五年の商工会法の法制化に尽力され、商工振興の基盤を作りあげました。この間、都商工会連合会長、四十二年から四年間は県連合商工会長を歴任。

自治行政においても、昭和二十二年四月の選挙で議会議員に当選してから今年の七月まで連続七期二十八年間を議会議員として活躍されました。このうち、四期を議会長として地方自治の向上、市の発展に尽力されました。

叙勲受章式は十一月十三日東京で行われました。

神林清一さん 大菊で知事賞

新潟近郊花の展らん会が十月、新潟市で開かれ、出品点数二百三十五点の中から神林清一さん（内島見）の大菊が県知事賞を、豊栄市長賞は橋本充夫さん（内島見）がそれぞれ受賞しました。

同展らん会は、今年六回目豊栄は菊の栽培面積二十七ヘクタールと県内最大の規模で、市内からもっとも多くの菊の出品がありました。

神林さんの知事賞は二年連続。また、新潟園芸市場賞も受賞しています。

このほか、渡辺繁一さんほか六人が大菊の部で、岩橋茂さんが小菊の部で、それぞれ金賞を受賞しています。

県農業まつりで金子さんも

十月二十五日に長岡市厚生会館で開催された県農業まつり（若健男会長）で、農事功労者として金子森夫さん（松橋、三十二歳）が同会長から表彰されました。農業後継者の育成および施設園芸の振興に功績があったことによるものです。

市内優秀 農業者を表彰

市農業改良会議（藤田三寺会長）では、市内の自立経営農家および農業生産組織のなかから優秀農業者を選んで表彰することを検討していましたが、このほど村上市で開かれた市内農業後継者育成研修会の席上、第一回の表彰を行いました。表彰されたのは次の方々です。

山崎 勝（高森、三十六歳）

地域の農業後継者のリーダーとして農業技術の改革と組織の育成および施設の共同化推進に功績

高森新田第一生産組合（高森新田、組合員九人、土田昭衛組合長）

農業機械の共同利用と、栽培協定による収量、品質の向上に功績

グァム島旅行は 二十一歳のお嬢さん

海外に目を向けようと十月二十三日、中央公民館で開かれた「海外旅行の夕べ」（市青年海外派遣団員連協議会主催）は講演二題、映画のあとグァム島招待航空券の当る抽選会が行なわれ、約百七十人の入場者の中から、幸運の特等は佐藤栄子さん（白新町四丁目）が獲得しました。

（「当るかな」グァム島招待の抽選会）